

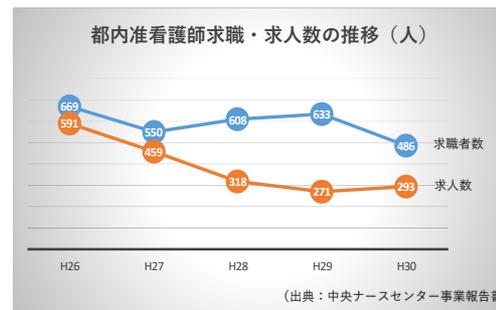
准看護師を取り巻く状況について

(1) 都内准看護師の需給

- ・ 求人数・求職数はともに減少傾向（右図）
- ・ 都内看護職員のうち、准看護師の割合は約10%

(2) 都内准看護師養成所の状況、学生の入学・卒業状況

- ・ 准看護師養成所は20年間で18校が閉鎖、現9校中2校が今年度末で閉校
→ 要因は応募者の減、実習先や教員の確保が困難になったことなど
- ・ 元年度の入学状況 入学定員の充足率98.3%、40歳以上の入学者の割合が高い
- ・ 30年度の卒業状況 約40%が都内で准看護師として就業（約35%は進学）

**(3) 国における需給推計とカリキュラム改定**

- ・ 看護職員需給推計（令和元年9月）
地域医療構想における2025年の病床数の必要量等に応じた看護職員数を都道府県ごとに推計。都は約4万2千人不足する見込
- ・ カリキュラム改定
2022年から適用。保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインは、本年夏ごろまでに発出される予定

(4) 養成所の新規指定を求める動き

- ・ 指定にあたっては、需給上の必要性や計画の成熟度等について、国のガイドラインや専修学校規程等も踏まえて総合的に評価する必要があるが、具体的で統一された基準がなく合理的判断が困難